

## 木曾川の魅力満喫

飛騨・木曾川Eポート交流会



スタートと同時に一斉にこぎ出す選手

第8回飛騨・木曾川Eポート交流会が8月29日、木曾川河畔笠松みなと公園で開催されました。

地元笠松町のチームをはじめ、県内外の小学生から大人までの90チーム総勢1,200人が集まり、Eポートの楽しさを通じて地域と地域のつながり、自然と人間の関わり、交流(Exchange)を図りました。

## カメラの眼

まちの出来事



あざやかに願掛け踊りを披露する小学生たち

## 100日間ラジオ体操を楽しむ

県町敬友クラブ

朝6時30分、役場の駐車場でラジオ体操の音楽と掛け声が聞こえます。最高齢90歳の方も一緒になって県町敬友クラブの20数人が、音楽に合わせてハツラツとラジオ体操を行っています。

伊藤隆郎会長は「夏休みの子どもを中心とした三世代ラジオ体操は、お盆前に終わってしまうので、会員からもっと長く続けたいとの要望があり、寒くなるまでの100日間ラジオ体操を続けて、もう20年ぐらいになります」と体操後のさわやかな笑顔で話されました。

## 平和への架け橋

松枝防衛協会20周年記念演奏会

松枝防衛協会20周年にあわせ記念演奏会が9月6日、松枝小学校体育館で開催されました。

県立岐阜工業高等学校吹奏楽部の演奏で始まり、笠松清流太鼓、陸上自衛隊第10師団音楽隊の演奏が披露されました。

年間100回を超える演奏を行う音楽隊の奏でる音色は、平和な世界を願う気持ちにあふれ、その思いは屋外にも響き渡りました。



平和を願い演奏する陸上自衛隊第10師団音楽隊

## 伝統を受け継ぐ子どもたち

円城寺の芭蕉踊

毎年恒例の円城寺の芭蕉踊が8月22日、円城寺の秋葉神社の祭礼に奉納されました。

この芭蕉踊は、江戸時代から雨乞いの踊りとして円城寺の人たちによって、その伝統が受け継がれています。

平成元年に岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、現在は円城寺芭蕉踊保存会が中心となり継承活動に努めています。踊り手は地元の小学生たち。背丈以上に長く重い芭蕉を背負い、うたと横笛にあわせて、鉦や太鼓を打ちながら踊ります。

保存会の方の指導を受け、この日に向けて練習を重ねてきた小学生たちは、祭礼に訪れた多くの人の前で見事な踊りを披露しました。



背筋を伸ばし爽やかにラジオ体操を楽しむ皆さん

ラジオ体操後クラブの皆さんは「健康のために」「体操をすると気持ちがいい」「会員同士のコミュニケーションがとれる」「これからも元気で続けたい」などと話され、みなと公園へウォーキング出かける方もいました。